

## 〈平成29年度修了式〉

今回で7回目となる平成29年度JOCエリートアカデミー修了式が3月11日(日)に味の素ナショナルトレーニングセンターで行われ、7名の修了生が新たなスタートを切りました。

式には修了生の他にJOC、スポーツ庁、日本スポーツ振興センター、各競技団体、東京都、北区、学校関係者、保護者など約140名が出席しました。

平岡英介JOC副会長による主催者挨拶に始まり、修了生紹介、平井明成スポーツ庁スポーツ総括官の来賓代表挨拶と続き、その後7人に対して修了証が授与されました。

次に、在校生を代表して榊君(レスリング)が壇上に上がり、修了生との思い出や今後の活躍を期待した内容のメッセージを送りました。

修了生の決意表明では、JOCエリートアカデミーで学んだことやコーチとの思い出、両親への感謝の気持ち、これから進む道への意気込みや抱負などが語られ、修了生自身の熱い思いが、出席者に伝わり会場が大きな感動で包まれました。



(写真:フォート・キシモト)

その後、会場を研修室1・に移して、在校生の月野さん(フェンシング)と井浦さん(ライフル)が進行役となり、送別会が開催されました。

修了生やその保護者はこれまでお世話になったNTC関係者やSAKURA Diningスタッフ、教育プログラム講師と思い出話などに花を咲かせていました。最後に修了生と保護者からのスピーチ、プレゼントの贈呈が行われ、和やかな雰囲気の中で会が終了しました。

送別会に引き続き、「JOCエリートアカデミー10周年記念パーティー」が開催されました。このパーティーはJOCエリートアカデミーが開校10周年を記念したもので、競技団体スタッフと平成23年度修了生の馬場さんが中心となって実行委員会を組織し、企画・運営を行いました。

社会人や大学生となった修了生13名のほか、学習会や英会話、野外活動などの講師らともエリートアカデミー時代の思い出に話が弾んでいました。また、10年間を振り返った映像も流され、思い出の数々に参加者が見入っている姿が印象的でした。

修了生の馬場さんは『10周年祝賀パーティーでは、多くの修了生に参加していただき、懐かしい思い出話に時間が経つのがとても早く、充実した時間を過ごすことが出来ました。また、競技間を超え、チームエリートアカデミーとして意識を高めることの出来た良い機会となりました』とコメントしています。この活動をこれからも何らかの形で継続し、店頭を受け継いでいったほしいと思います。

7回目を迎えた修了式と送別会ですが、回を追うごとにJOCエリートアカデミーとしてのスタイルが確立されてきているように感じます。特に送別会では、競技や学年を超えて交流の輪が広がっていったことは、今後大きな財産になると思います。

### ＝修了生及び進路＝

- 南條 早映(レスリング:安部学院高卒業)  
至学館大学 健康科学部
- 須崎 優衣(レスリング:安部学院高卒業)  
早稲田大学 スポーツ科学部
- 竹内 嘉菜(卓球:帝京高卒業)  
中央大学 法学部
- 脇田 樹魅(フェンシング:帝京高卒業)  
日本女子体育大学 体育学部
- 伊藤 洸輝(水泳/飛込:帝京高卒業)  
日本大学 文理学部
- 清水 彰人(ライフル射撃:東京都立王子総合高卒業)  
海外留学の予定
- 上田 ゆい(ライフル射撃:大原学園高卒業)  
東海東京ファイナンスホールディングス株式会社



(写真:フォート・キシモト)

## 〈卓球〉ITTFチームワールドカップ

2月22日から25日まで、2018 ITTFチームワールドカップがロンドン（イギリス）で開催され、張本君と平野さんが日本代表として出場しました。この大会は2年に1回開催され、それぞれの大別選手権優勝国をはじめとした強豪12か国によって争われる大会です。

男女とも予選リーグを全勝で勝ち上がり、男子は準々決勝で中国香港を3対2、準決勝でも韓国に3対2で勝利し、決勝に進出。決勝では中国に0対3で敗れ、準優勝となりました。

女子も準々決勝でシンガポールを3対1、準決勝では朝鮮民主主義人民共和国を3対0で破り決勝に進出しましたが、決勝では中国に0対3で敗れ準優勝となりました。

## 〈レスリング〉クリッパン国際大会

2月16日から18日にクリッパン（スウェーデン）で「クリッパン女子国際大会」が開催され、南條さん・須崎さん・鏡さんが出場しました。

鏡さんはカデット69kg級に出場し、3試合すべてをテクニカルフォールという圧倒的な力で優勝を果たしました。

須崎さんはシニア50kg級に出場し、決勝では2016年リオデジャネイロオリンピック48kg級銀メダリストのマリア・スタドニク（アゼルバイジャン）と対戦し、ラスト8秒にタックルで場外へ出し、2-2のラストポイントによって勝利し、優勝を果たしました。

南條さんはシニア57kg級に出場し、決勝で昨年のU-23世界選手権58kg級3位のタチアナ・キト（ウクライナ）に6-2で勝利し、優勝を果たしました。

今年から本大会のシニアカテゴリーでは世界レスリング連盟（UWW）の定めるランキング大会となり、須崎さんと南條さんは、世界トップ選手が数多くエントリーする昨年より厳しい闘いとなった中での優勝であり、世界のトップレベルであることを証明しました。

なお、本大会で国際大会の連勝記録を鏡さんは2連勝、須崎さんは8連勝、南條さんは6連勝に伸ばしています。

## 〈社会体験活動〉

2月4日、社会体験活動として浅草寺参拝とJRA日本競馬学校の見学を行いました。この活動は、2つのことを目的として毎年2月上旬に実施しています。①日常では経験できない体験を通して、社会の仕組みや変化などを理解し社会性を身につける。②集団での行動を通して、JOCエリートアカデミーへの帰属意識を高める。

JRA日本競馬学校の見学では、アカデミー生同様に寄宿生活を送りながら騎手となるための教育を受けている競馬学校生徒との交流や施設見学、乗馬体験等を行ないました。交流の中では、厳しい自己管理をしながら毎日生活していることや馬に対する思いなどについて理解を深めました。また、乗馬体験では騎手が乗っている馬に騎乗し、実際に手綱を握って“馬に乗ること”を体験しました。

今回の体験を通じて、日々の生活を振り返り、これからの活動に活かしてほしいと思います。

-柏君の感想-

『アカデミーの社会見学で浅草と競馬学校へ行きました。始めに浅草寺へ行きお参りをしました。仲見世通りでは外国人観光客がとても多く

日本が国際的に人気なのが感じられました。次に競馬学校へ行きました。競馬学校は騎手は3年間、調教師は6か月間かけて教育する施設です。学校では、携帯は禁止なのでメールもゲームもできません。私と同じ世代でそれを我慢して生活しているのはすごいと思いました。また、体重は常に47kg以内でなければなりません。前の日より100gでも増えたらペナルティーでそれが溜まると退学です。しかし、食事は制限なく食べていて菓子も許されています。自由な食事の中で体重管理をできているのは自分の中に目標があり、それを達成したいという意志があるからだと感じました。私も今置かれてる厳しい環境の中でも目標をもう一度見直し強い意志を持ち生活していこうと思います』(原文のまま記載)



【JRA日本競馬学校での集合写真】

## 〈英会話プレゼンテーション〉

2月15日、17日の2回にわたって今年度3回目の英会話プレゼンテーションを行いました。英会話では、日常でも使えて、コミュニケーションに繋がる実践的なプレゼンテーションを目標に年間3回実施しており、今回はそのまとめとなる個人で行うものです。（テーマはクラスによって異なります）

○中学生クラス：各自でテーマを設定

※「The Story of My Life」「My Future Dream」など

○高校アンダークラス：「私の好きな映画」で統一

○高校アッパークラス：「私のJOCエリートアカデミーライフ」で統一

○スペシャルクラス：各自でテーマを設定

※「My experience being injured」「What is rowing?」

「The importance of friends」など



【英会話講師たちとの集合写真】

公益財団法人 日本オリンピック委員会  
JOCエリートアカデミー事業



〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1  
味の素ナショナルトレーニングセンター

TEL: 03(5963)0355/FAX: 03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。  
<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>